

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 急告「県・市町村青少年相談担当職員研修会」日程決まる！
 - ② 平成30年度「子供・若者白書」で群馬県の取組が紹介される
 - ③ 青少年会館「高校卒業程度の学力をつけたい」支援が始まる
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室「言葉を使って気持ちを伝える」
 - ② 不登校支援イベント「SAME BOAT」
 - ③ 各分野における第一線者のための子育てサポート意見交換会
 - ④ ひきこもり家族会「対話交流会」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① 桐生第一高校 「文化教養コース」

1 急告「県・市町村青少年相談担当職員研修会」日程決まる！

身近な地域や学校で青少年の相談に携わる職員を対象に、子ども・若者の相談・支援についての知識や技法、他機関との連携による支援についての理解を深める研修会を、毎年、開催しています。

県子ども・若者支援協議会の代表者会議(7/4)で、今年度の研修会の日程等が決定されたのでお知らせします。

実施要項等の詳細は、後日、ご案内します。

日 時：12月17日(月) 13:00～16:40
会 場：群馬県公社総合ビル ホール(前橋市大渡町1-10-7)
*会場を群馬会館から変更しました

テーマは「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」、事例報告やパネルディスカッションを行います。

これまでの研修会の内容は県HPでご覧になれます。
http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00001512.html

2 平成30年度「子供・若者白書」で群馬県の取組が紹介される

「子供・若者白書」は、子ども・若者育成支援推進法に基づく年次報告書として作成され、毎年、国会に報告されています(平成22年～)

平成30年度版の特集「就労等に関する若者の意識」で、若者を対象に、職業について考えるきっかけを提供したり、キャリア形成を支援したりしている取組の事例として、群馬県が紹介されています。

学校から離れてしまった若者に対する支援
～子ども・若者支援地域協議会と連携した群馬県の取組～

★メルマガ原稿_vol.20.txt

高校中退者や中学卒業後進路未決定者を対象に関係機関が連携して支援に取り組む群馬県が紹介されています。

「子供・若者白書」は内閣府HPをご覧ください。
http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h30honpen/pdf_index.html

群馬県の紹介内容は、こちらに掲載されています。
http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h30honpen/pdf/b1_00toku_03.pdf

3 青少年会館「高校卒業程度の学力をつけたい」支援が始まる

高校中退者等を対象に、高校卒業程度認定の学力を付けるための学習相談と学習支援を行う「学びを通じたステップアップ支援促進事業」(文科省モデル事業)が始まっています。

高卒認定取得に向けた学習支援は、青少年会館、高崎会場(高崎市労使会館)、伊勢崎会場(伊勢崎市明石楽舎)に加えて、新たに太田会場(太田行政センター)でも行っています。

この事業の詳細は次をご覧ください。
<http://www.gyc.or.jp/kaikan5/zigyounai/pdf/h30%20zigyounai.pdf>

学習会の日程等は青少年会館のHPからご覧になれます。
<http://www.gyc.or.jp/kaikan5/index.html>

4 7/26 ひきこもり家族教室 講座「言葉を使って気持ちを伝える」

ひきこもり支援センター(県こころの健康センター内)では、ひきこもりに悩んでおられる家族を対象に、家族教室を開催しています。

7月は、下記のとおり講座を開催します。

【講座】

日時：7月26日(木) 13:30~16:00
場所：県こころの健康センター会議室(前橋市野中町368)
内容：「言葉を使って、気持ちを伝える」
講師：群馬大学健康支援総合センター 浅見隆康医師
(前こころの健康センター所長)
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

詳細は別添資料1をご覧ください。

5 8/18 不登校支援イベント「SAME BOAT」

NPO法人ターサ・エデュケーションでは、学校に行きづらさを抱えている子どもとその保護者等を対象につなぎ形成を目的としたイベントを実施します。

今回は不登校限定ではなく、行きづらさを感じている子どもに対しても対象にしています。
なお、2日目の講演会は、一般参加も可能です。

★メルマガ原稿_vol. 20. txt

【イベント】

日時 8月18日(土) 13:00~17:00 * 宿泊参加も可能
8月19日(日) 10:00~12:00 * 講演会は一般参加も可能
場所 国立赤城青少年交流の家(前橋市富士見町赤城山27)
対象 学校に行きづらさを感じている小中高生およびその親
共催 国立赤城青少年交流の家
費用 無料
連絡先 メール korandom.school@gmail.com
電話 027 226 5243

イベントの詳細は別添資料2、またはFacebookをご覧ください。
URL: <https://www.facebook.com/events/240196953238135/?ti=icl>

* 「SAME BOAT」は「同じ状況」という英語の口語表現。

6 8/19 各分野における第一線者のための子育てサポート意見交換会

子どもたちの未来を守る「守人(まもりびと)の会 aisa」では、子どもにかかわる活動を実践されている方々のための意見交換会を開催します。

子どもたちをとりまく環境は、日々大きく変化しています。次世代を担う子どもたちのために、地域の子育て支援活動はどのような役割を果たせるのでしょうか。

地域で子ども支援にかかわっている実践者のみなさん、私たちの活動が子どもたちの生きる力にどのように繋がるのか再確認しましょう！

【パネルディスカッション】

日時: 8月19日(日) 14:00~16:30
場所: 群馬会館(事前登録者は県民駐車場の駐車券を発行)
テーマ: 親子の関わりをサポートする力
~ 家庭と地域と教育で子どもの心を育てる ~

パネリスト:

佐藤博之(前 前橋市教育委員会教育長)
橋島隼人(NPO法人 あかぎの森のようちえん理事長)
井上昭子(子育てネットワークゆるいく代表)
山本 泉(NPO法人 カンセリング&コミュニケーション・μ代表)

申込み(8/5まで)、下記URLからお願いします。
URL: <https://goo.gl/forms/H0ynqUckyBmq7Zo53>

【交流会】パネルディスカッション終了後に交流会を開催します。

詳細は、添付ファイル3、またはFacebookページをご覧ください。
<fb.me/aisa.gunma>

7 8/26 ひきこもり家族会「対話交流会」

「KHJ群馬はるかぜの会」では、KHJ全国ひきこもり家族会連合会に共催「ひきこもり つながる・考える 対話交流会」を開催します。

「つな・かん」は、地域で新しいつながりの場を、どう生み出し、どう継続していくかを考える場です。

参加者同士が立場を超えた対等な関係で知り合い、考えや思いを分かち合いつながら対話交流会です。

【対話交流会】

日 時：8月26日（日）13：30～16：30

場 所：群馬県庁昭和庁舎 35会議室

対 象：本人・経験者、家族、支援者等ひきこもりに関心がある方

定 員：先着 50 名

申し込み：KHJ本部事務局 E-mail： taiwa@khj-h.com

FAX： 03-5944-5290

*「8/26 群馬つなかん 申し込み」と明記し、氏名、連絡アドレスまたは電話番号、差し支えなければ経験者・本人/家族/支援者の別をご記入ください。

問い合わせ先：NPO法人 KHJ全国ひきこもり家族連合会
（月～金 午前10：00～午後7：00） 03-5944-5290

詳しくはホームページをご覧ください。

URL：http://www.khj-h.com

8 民間活動団体等の紹介 桐生第一高校 文化教養コース「桐桜学舎」

「学校へ行きたくても行けない、学校に行きたくないから行かない。」
..でも、「本当は授業を受けたい、勉強をやり直したい。」
そういった生徒たちが桐生第一高校「文化教養コース」で学んでいます。

中学校時代に不登校や別室登校など、集団生活が苦手なため今まで多くの可能性を持ちながら、十分な力を発揮できなかった生徒たちの学び直しを支援しています。

夏休みから12月まで、オープンスクールや説明会を開催します。

詳細は高校ホームページ「文化教養コース」をご覧ください。

URL：https://www.kiriichi.ac.jp/admissions/course/bunkyo/



次号は、平成30年8月下旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 子育て・青少年課内
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

★メルマガ原稿_vol.20.txt

▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>

平成30年度

ひきこもり家族教室のご案内

ひきこもり支援センターでは、ひきこもりに悩んでおられるご家族等を対象に、家族教室を下記のとおり開催いたします。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としましょう。

- ・申込みいただき、**個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内**しています。
- ・支援者の方、ご家族同伴でのご本人の参加もお待ちしています。
- ・見学や参加を希望される方は、**下記連絡先までご連絡下さい**。

場所： 群馬県こころの健康センター 会議室

時間： 午後1時30分～午後4時00分

連絡先： ひきこもり支援センター（群馬県こころの健康センター内：前橋市野中町368）

「ひきこもり専用ダイヤル」 電話：**027-287-1121**

月～金 午前9時から午後5時まで ※年末年始、祝日は除く



【家族教室に参加すると】

- ・自分だけではない安心感
 - ・選択肢が広がる
 - ・気持ちに余裕ができる
 - ・工夫できる場所が見つかる…等
- ヒントが得られる機会になります。

家族の気持ちの安定が、
本人の気持ちにも影響を
与え、本人の状態が良くなる
という研究結果があります



* 日程表は裏面にあります *

平成30年度ひきこもり家族教室予定表

開催日	テーマ	講師
4月26日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
5月24日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
6月28日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
7月26日(木)	講座 『言葉を使って気持ちを伝える』	・群馬大学 浅見隆康医師
8月23日(木)	講座 『自分らしく生きたい!』	・NPO法人楽の会リーラ 大橋史信ひきこもりピアサポーター
10月25日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
11月22日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
12月27日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
平成31年 2月28日(木)	DVD上映会+座談会 NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ『ひきこもりからの回復』	

* 教室は、前期（4月～6月）と後期（10月～12月）は同じ内容です。

* 講座は1回のみの内容です。



きみと話したい

SAME
BOAT

「Same boat」は英語の口語表現で「同じ状況」という意味。
ゆっくり浮かぶボートの上で、ゆっくりコミュニケーションをとることで
当事者同士だから自然につながれて、分かり合える。
気持ちがずっと楽になってくれる。そして仲間になる。
今回は「学校にいきづらさ」を抱えている状況の子どもたちやその親御さんが、
日常とは異なる自然の中で当事者同士ゆっくりとつながる機会を提供します。

親子で
参加!!

ここでは心も体も我慢しなくていい。
合わせなくていい。解放していい。
だってここにはあなたをわかる人しかいないはずだから。
このイベントを境にあなたはもう一人じゃない。

参加費
無料!

日時 8.18(土) 13時 ~ 19(日) 12時 場所 赤城青少年交流の家

運営法人：NPO法人ターサエデュケーション 後援：群馬県、群馬県教育委員会、上毛新聞

<http://tasa-education.jimdo.com>

ターサエデュケーション 検索

SAME BOAT

きみと 話したい

参加費
無料!

親子で
参加!!

つながりから生まれる。第三の居場所。

日時 8.18(土)13時～19(日)12時

場所 赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山 27 Tel. 027-289-7224

学校にいきづらさを抱えている小中高生とその保護者に対し、赤城青少年交流の家で2日間のイベントを実施します。1日目は子どもと保護者一緒にうどん打ちやうどん流し、キャンドルファイヤーを行います。2日目は子どもと保護者には別々のプログラムを施します。子どもたちは、野外で制作活動を行い、保護者は当事者理解を深めるために専門家による講演会を開催します。2日間連続で参加される場合には宿泊も可能です。



【ワークショップの内容】

児童

1日目…うどん打ちとうどん流し。宿泊される場合にはキャンドルファイヤー
2日目…本格的!!な竹とんぼ作り

保護者

1日目…うどん打ちとうどん流し。宿泊される場合にはキャンドルファイヤー
2日目…講演会 ※当事者理解を深めたい方、一般参加も可能

【参加条件】学校に行かない or 行けない小・中学生およびその親 ※子どもだけ、親だけでも参加可能

【参加お申し込み】  tasa.educate@gmail.com

タイトルを「SAME BOAT」とし ①氏名(親子共) ②住所 ③連絡先 ④お子様の学年 ⑤希望日の項目を(上記アドレス)までお送りください。また、お電話でのお問合せは、027-226-5243 までお願いいたします。

【前回参加者の声】<保護者>○保護者・当事者同士で話をできたことがよかった。○子どもが外のイベントに楽しそうに参加できてよかった。○つながりができてよかった。○子どもが親と離れる時間を持てた。○自分だけじゃないんだと思えた。<児童>○普通に楽しかった。○気持ちがスカッとした。○友達ができた○みんなで同じことを別々にできたことがよかった○ボランティアの方々が優しく過ごしやすいかった。

【特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション について】

群馬県内で子どもの健やかな育ちを当たり前にしたいというミッションのもと、子どもそれぞれへ公平な教育機会を提供する活動を行っております。

<http://tasa-education.jimdo.com/>

運営法人：NPO法人ターサエデュケーション 後援：群馬県、群馬県教育委員会、上毛新聞

<http://tasa-education.jimdo.com>

ターサエデュケーション 検索

Facebook
イベントページ



各分野における第一線者のための 子育てサポート意見交換会

8/19 SUN

14:00 START
於 群馬会館
参加無料



実践者によるパネルディスカッション

現代社会において、子育て支援のボランティアやNPO等の市民団体は、子どもの成長のためにはなくてはならない存在です。未来を生きる、自己肯定感の高い子どもを育てるために、私たちの活動が持つ社会的意義・影響力を一緒に考えていきましょう。

次世代を担う子どもの成長を願い、群馬県下で活動する様々な団体の第一線者が一堂に会します。団体の枠を超えて、本来の意味で子どもの成長のためにできることを、共に考えましょう。

タイムテーブル

13:30 受付開始、開場
14:00 開会
ごあいさつ
団体紹介
14:20 パネルディスカッション
16:30 閉会

参加申込

8月5日までに、下記リンクから、
または右記バーコードを読み取り、
お申し込みください。

<https://goo.gl/forms/HOynqUckyBmq7Zo53>



題目

親子の関わりをサポートする力
～家庭と地域と教育で子どもの心を育てる～

パネリスト

佐藤 博之 前 前橋市教育委員会教育長
樺島 隼人 NPO法人 あかぎの森のようちえん理事長
井上 昭子 子育てネットワークゆるいく代表
山本 泉 NPO法人 カウンセリング&
コミュニケーション・ミュー (CCM) 代表

会場

群馬会館2階ホール(前橋市大手町2-1-1)
TEL:027-226-4850(問い合わせは不可)

交流会

意見交換会実施後、交流会を開催し、交流のきっかけとなるゲームや話し合いを提供します。群馬県下で活躍する、様々な団体の仲間とより強いつながりを作りましょう。

17:00～18:30
群馬会館1階広間
参加費1,000円(軽食付)
名刺をお持ちの方はご持参ください。

駐車場は県庁構内県民駐車場をご利用願います。
※事前登録いただいた方には、駐車券を発行いたします。

主催：子どもたちの未来を守る^{まもりひと}守人の会 aisa
後援：群馬県、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、
前橋市社会福祉協議会、前橋市ボランティアセンター、
上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA

お問い合わせ：aisa事務局 aisa.gunma@gmail.com

